

HPCI計画推進委員会 次世代計算基盤を見据えた今後のHPCIの運営に係る検討ワーキング グループの設置について

令和 6 年 11 月 28 日
H P C I 計画推進委員会決定

1. 趣旨

スーパーコンピュータ「富岳」および革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ（以下、「HPCI」という。）については、「京」の共用開始（平成24年9月）から12年が経過しているところ。

先般、「次世代計算基盤に関する報告書 最終取りまとめ（2024年6月）」において次期フラッグシップシステムに求められる性能や機能について報告が行われ、ポスト「富岳」の開発に向けた具体的な検討が進められている。こうした中で、HPCI計画推進委員会では、次世代計算基盤を見据えた今後のHPCIの運営についての議論が進められており、有識者からは現状のHPCIの運営に係る問題点が指摘されている。次世代計算基盤においては、加速部の導入やAI技術とシミュレーションの融合への対応、ユーザビリティの向上等、従前とは大きく異なる運営体制の構築が求められることが想定されることから、HPCIの運営の改善に向けた検討を早期かつ集中的に実施することが必要不可欠である。

このため、上述の検討を行う「次世代計算基盤を見据えた今後のHPCIの運営に係る検討ワーキンググループ」（以下、「本WG」という。）を、HPCI計画推進委員会の下に設置する。

2. 検討事項

- (1) 登録施設利用促進機関およびHPCIの運営委託機関に関すること
- (2) 利用促進やユーザー対応、課題選定、運用機関との連携に関すること
- (3) その他

3. 構成及び運営

- ・ 本WGの構成員は、別紙のとおりとする
- ・ 本WGの運営に係る事項は、本WGにおいて定める

4. 実施期間

令和 6 年 11 月 28 日から、検討事項の終了までとする

5. その他

- ・ 本WGの庶務は、研究振興局参事官(情報担当)付計算科学技術推進室が行う
- ・ 本WG委員の委嘱は年度ごとに行うものとする